



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:0593-31-1670
 ☎:0593-32-0733

掲示板法話

この世に絶対の安心はない

亡き人は命がけで「我が無常」を示し 真の安心を教えてください



昨年の大震災以来、人々の地震・津波に対する警戒心が高まっています。とりわけ、東海・東南海・南海地震のみならず、日向灘などを含む南海トラフの5連動地震の被害想定が出るに至って、海岸部に近い地域に住む人たちの不安感は随分増えています。地震学者たちが古文書などに記載されている大地震の記録をデータがないことを理由に黙殺してきたことが批判されたため、地質調査から推定される巨大津波の痕跡を手がかりに千年、二千年という古代まで遡って見直しをするようになりました。更に、東日本大震災の場合、比較的浅い海溝での「すべり」が巨大地震を引き起こしたため、各地の最大限の揺れや浸水想定を重ね合わせた計算結果が三月末に示され、衝撃が拡がりました。

勿論、国や自治体が可能な限りの防災対策を検討する必要があるが、一〇〇%の「安心・安全」を国に求めるのは、いささか無理なことではないでしょうか？可能な限りの「安全」確保策を講ず

るのは国の責務だとしても、この世の中に絶対の「安心」などありえないからです。地震・津波に襲われなくても我々は事故にあうかもしれません。この身体の中で難しい病気が進行しているかもしれない。

我が一大事を他人事のように目をそらしてうつつを抜かしている間にも、このいのちがいつ、どんなことで終わるかもしれないことは、古今東西普遍の道理です。大震災はこの生死無常の道理を厳しくも見せられたのだと我々仏教徒は受け止めるべきではないでしょうか。

限りあるいのちだからこそ、「恵まれたこの一日一日を燃えつくし、輝いて生きていきます」と腹据えて生きることが、仏教徒の人生だと思えますが、いかがでしょうか？

安楽浄土にいたるひと

五濁悪世にかへりては

釈迦牟尼仏のごとくにて

利益衆生はきはもなし(浄土和讃)

一縁の深い肉親の死は殊に辛く悲し

いけれど、亡き人がこの私に命をかけて教えてくださった生死無常の理を「明日はわが身」として真摯に受け止め、残された人生を精一杯生きて往くことこそ仏恩報謝に叶う人生です。亡き人をおのうに偲び、拝む中にお浄土からもたらされた「安心」を感じていける世界が広がっているのです。



- ① 門徒役員会にて
- ② 新米パパに抱かれ
- ③ 初節句記念写真
- ④ 仏婦主催初参式

☆アルバムニュース☆



2012.4.21初参式 9名の赤ちゃんと家族 in 善正寺

☆行事ご案内☆

◇6月23日(土)夕方5時~7時

『亮爾誕生祝賀会』& 懇親会

生桑 ユラックス 於

(迎えバス利用の方) 3時半・善正寺駐車場
 到着後入浴可、車の方もご自由に入浴可、その後宴会開始
 ※6月の門信徒会例会は、この祝賀会&懇親会に当てます

◇キッズサンガ 6月2日(土)午後4時より

お友達も誘って来て下さい。 毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 6月18日(月)午後1時半 智積 西勝寺様
 7月2日(月)名古屋別院音楽祭 バス小杉9時、桜9時半

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。

「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設3年10ヶ月で7万3千訪問、一日平均90以上！

〔三重組行事案内〕

☆三重組仏教講習会、(講師 末本弘然先生)

6月14日午後 智積 西勝寺様、
 15日午前午後 西阿倉川 浄覚寺様、
 16日午前午後 山田 暁覚寺様

☆7月3日「三重組十三日講」明林寺様(井上慶真先生)

〔一縁会テレホン法話〕 059・354・1454へお電話を！

3分間で法話が聞けます。6月4日(月)から10日(日)まで父親になった長男潤爾が担当します。お楽しみに！

坊守スケッチ

オバアチャンになって気付くこと

初孫亮爾が誕生して早2ヶ月、嫁の実家から我が家にやって来て早1ヶ月が経つ。体重は生まれた時の2倍近くに、抱くとズシンと重みが両肩や両腕にかかる。泣くとすぐに誰かが飛んで行って抱くので、すっかり抱き癖が付いた。私は髄鞘炎予防のために、両腕にサポーターを巻く。赤ん坊の生命力はスゴイ！母乳との混合栄養ではあるが、ミルクを飲む時には、哺乳瓶に吸い付きグイグイと飲み始める。昔の人は「赤ん坊は泣くのが仕事。泣いて胃袋が大きくなって食欲が増し丈夫な体になる」と言った。医学的な根拠は無いが、赤ん坊に我慢することを覚えさせるためか、甘やかす子守り法を戒めたものかもしれない。でも我が家の場合は初孫なので、大声で泣かせるのは忍びない。我慢できないのは、むしろ私達大人の方かも知れない。

私が子供を産んだのは34年前のこと。子育ての苦勞を思い出そうとしても、すっかりそこだけ抜け落ちていく。何故だろうと思ひ返してみた。亡き舅と姑が、孫の世話に協力してくれたのは70歳代。私達よりも10歳以上も年老いているので、さぞ体に負担がかかっただろうと察する。それなのに姑はおんぶヒモで赤ん坊を背負って、よく近所に出かけた。当時は孫可愛さに連れて行くのだとしか思え

なかった。しかし現在私に初孫が授かっているのはと気付いたことがある。赤ん坊が夜通し泣くので、睡眠不足の私のことを気遣って、昼間少しでも寝かせてやろうという『姑の深い思いやり』ではなかったか！実際その時だけ私はゆっくり体を休めることが出来た。現在息子夫婦が協力して子育てをしているが、四六時中若い二人だけで赤ん坊の世話をするのは大変。「いつでも応援するからね」と言った手前、毎日少しの時間でも預かるようにしている。多少むずかかっていても、静かな本堂で子守歌を歌うとすぐ大人しくなる亮爾。亮爾の子守歌は『恩徳讃』(旧節)の替え歌。寝入ったところを見計らってそっとベッドに寝かせるのと、たちまちギャー。その繰り返し。寝た振りの上手なのは父親譲り。まぶたを閉じたままニヤッと笑う寝顔に見とれて、腕の痛いのも忘れてしまう。すっかり寝入ったところに、電話や玄関のインターホンが鳴ると、寝た児を起こす。お寺の子供は多少の音にも動じないように逞しく育てたいと思う。

赤ん坊が我が家にやって来てからは、大人のモノサシでは、時間が計れなくなった。全て赤ん坊の都合に合わせて時計が回っている。慣れれば、元の生活に復活するかも知れないが、これも大人だけの単純で味気ない生活



に、ゆとりと家族の温かい心の交流が生まれたひとときと受け止めよう。初孫のおかげで気付く亡き姑の「恩!」その思いは受け継がれてゆく。

☆寄稿

四日市市 川崎孝一
 ☆蝶が翅 広げてとまる 様に似て 綿の双葉は 発芽後十日

☆針仕事 為るところ見るより寧ろ 踏み台だった 母のあま台

四日市市 沢妙水
 ☆誓めあつて 泣いて笑った 初節句

☆亡き母が 居りて自分が生きて カーネーション

小三重組コーラス♪
 ☆練習場所・智積 西勝寺様
 6月18日(火)・午後1時半
 7月2日(月) 名古屋別院音楽祭

キッズサンガ・杉の子合唱団
 ☆6月2日(土) 午後4時より 友達を誘って来てね! 鐘撞きは年中 無休で夕方5時。ご褒美にガムや飴

☆カンパ有難う☆
 伊藤綾子様・加藤由紀子様・MY様・MM様、他匿名様よりお志・葉書・切手有難うございました

☆ホットニュース☆
 ☆4月21日(土) 初参式に9名の赤ちゃんが参拝。我が家の初孫も

両方の祖父母と両親6名の付き添いで参拝。写真は本堂横の部屋に掲載。仏様が赤飯で祝福して下さいました。
 ☆6月23日(土)「亮爾誕生祝賀会」午後5時より祝宴 生菓 ユラックス於バス迎え3時半善正寺駐車場、4時より入浴可、ご夫婦での参加大歓迎!
 ☆新刊本「縁会テレホン法話」14冊目の本「心おきなく迷っていきける」発売中!
 ☆善正寺のホームページ「三重 善正寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設3年10ヶ月で7万3千アクセス突破1日平均90訪問。悩み相談メールでも歓迎。
 平成24年度今後の主な行事予定
 ◇5月20日(日)午前は門僧徒總會、午後1時「公開法座」講師石川欣也師(奈良) お誘いあわせてご参拝を!
 ◇「秋季永代経」8月18(土)・19(日) 午後加藤正人師(桑名)
 ◇「報恩講」11月2日午後1時半と夜6時半・3日午前10時・午後1時三全仏壇報恩講 講師大島信隆師(岸和田) 今年から報恩講が11月に変わりますので、よろしく願います。
 ◇「秋勧進」11月23日午前
 ◇「お内仏報恩講」12月1日(土)夜

☆編集子より☆

「善正寺だより」第二二二号をお届けします。◇竜巻、突風の被害が発生。痛ましい事故も起こり、穏やかならざる昨今。◇だが根源的不安は孤独。孤独を本当に救うのは仏の大慈悲心です。亡き人は還相の菩薩となつてこの世の間を晴らす妙薬です。

以前に小学生が仕事調べに来ました。「お寺はどんな仕事を
するのですか?」「お葬式やお参りもするけれど本堂で仏
様のお話を聞いて人生の道しるべの仕事をする。困った人の身
の上相談にも乗るよ」「いっぱい仕事をしているから儲か
るでしょう?」「いいえ、決して見返りを求めて仕事をする
のではありません。他人のお役にたつことを喜びひととする仕事
だよ。だからお寺の仕事に値段表などない。皆さんの
お志で成り立っている」と説明。「お寺はまるで印イワンの
馬鹿なみたいなの仕事だね」。私はトルストイの「印イワンの馬
鹿」を詳しく知らなかったので早速読みました。印イワンには
二人の兄と妹がいます。兄達はすぐる賢くて軍人や商人として
成功しますが、後に欲深のせいと身を滅ぼします。印イワンは
けは馬鹿なほどお人よしで、言葉が話せない妹と牛馬の
如く一生懸命に働きました。他人にどう思われようと
一切気にせず、労を惜しみます。正直に仕事をしました。
少しも自らのほからがなくなりのままの生き方。いわは
仏様に全てを任せきったよつな人でした。あの小学生
にお寺の仕事の本当のあり方を教えられたような
できごとでした。それ以後、私はお寺の仕事に誇りを
持ち、他人のお役に立つ仕事ができよう心に掛けま
した。ところで6月23日(土)夕方5時生誕ユラックステ
日亮誕生祝賀会を開催します。親睦も兼ねた
懇親会です。ので皆様のご参加をお待ち申し上げます。
平成24年6月 合掌 善正寺坊守様